

# 拓大一高ハンドボール部PROJECT 2030

## 「古豪復活・2030年までに男女とも関東大会に出場」



### ねらい1 学校をリードする部活動

ハンドボールを通して、「心身共に健全で、よく勉強し、素直で思いやりある青年を育成する」という拓大一高の教育目標を達成します。

### ねらい2 結果や勝利よりも人格の練磨を第一とする

「関東大会常連校にふさわしいチーム」像や「関東大会出場にふさわしい選手・スタッフ」像は拓大一高の教育目標が掲げる人物像に重なるという共通認識を持ち、**ねらい1**の達成こそが「2030年までに男女とも関東大会に出場する」という目標達成の原動力となると考えます。

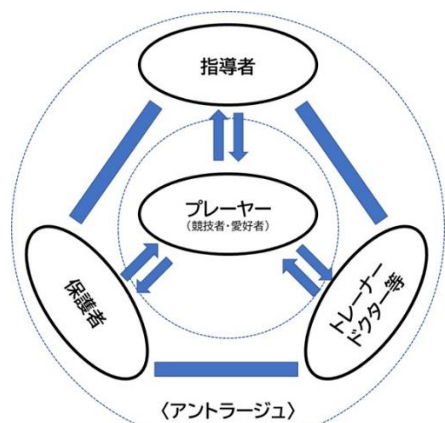
### ねらい3 スポーツを科学する

部内での一貫指導を強化し、**選手・スタッフ間の科学的裏づけに基づいたハンドボールの研究を意識**します。積極的に外部の指導者を招聘し、新たな知見の獲得に挑戦します。

### 将来像 人脈センターとしての部活動

関東学生リーグに所属する卒業生を増加させ、積極的に大学との合同練習を行い、高・大の接続を強化すると共に、中学校との合同練習を行い、中・高の接続を強化します。

中学生・高校生・大学生・社会人と、**入学前・卒業後のステージにおいて活躍する人を応援し、共に成長を目指せる環境づくり**を心がけます。



【全体が高まる・成長する】

## 拓一ハンドが重視する

## 「プレイヤーズセンタード」

プレイヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれのWell-being (良好・幸福な状態) を目指しながら、プレイヤーをサポートしていくという考え方。(JSPO HP より)